

通 告 順	議席番号	通 告 者
5	1 3	澤 井 俊 一

## 1 町民乗合自動車の運営について

町民乗合自動車として、4路線を運行している「さざんか号」、デマンド型乗合タクシー「わたりん号」は運行を開始し1年（令和2年8月3日から運行）が経過しました。

そこで、以下の3点について伺います。

- (1) 令和3年9月末の「わたりん号」利用者登録数は1,032人ですが、運転免許返納者数と60代、70代、80代、90代の登録者数を伺います。
- (2) 1日7便運行していますが、1年間の利用人数。利用人数が多い時間帯。利用目的地について伺います。
- (3) 予約は1週間前から前日まで、当日の予約は4～7便に空きがある場合のみ9時30分まで予約・変更ができますが、9時30分以降に当日の予約や時間の変更ができないため、キャンセルすることになります。予約方法の見直しを検討してはどうか。予約方法の見直しについては、「さざんか号」の運行を含め検討してはどうか。伺います。

## 2 コワーキングスペースの利用状況等について

令和3年4月1日コワーキングスペースを開設し、半年が経過しました。9月までの利用者登録数と利用状況を伺います。また、利用者登録を簡素化してはどうか。あわせて伺います。

通 告 順	議席番号	通 告 者
6	7	鈴 木 秀 一

## 1 三門山、大森山、四方山など阿武隈高地の里山環境保全について

全国的に、里山が荒廃する問題が発生しており、本町の三門山、大森山、四方山などの阿武隈高地においても、倒木や山林の荒廃が見受けられる。里山の保全・保護は重要であるが、森林管理には多額の費用が掛かることから、国（経済産業省、環境省、農林水産省）が推奨する、森林管理等によって生じた二酸化炭素排出削減量を企業に販売する「J-クレジット制度」を導入する自治体も増加している。

本町の「第5次亘理町総合発展計画後期基本計画」において、「自然環境保全地域、緑地環境保全地域の充実」を提言しているが、積極的に里山の環境保全に取り組むべきと考え次の3点について伺う

- (1) 本町の里山の課題をどう捉えているのか。
- (2) 山林所有者や、行政が行う森林管理だけでなく企業、町民、ボランティア、NPO等による里山づくりを検討してはどうか。
- (3) J-クレジット制度導入を検討してはどうか。

通告順	議席番号	通告者
7	3	高野進

## 1 町長選挙の際の政策（公約）等について

町長は2018（平成30）年5月に就任から3年7ヶ月が経過し、残り5ヶ月になりました。

選挙の際の政策（公約）等を踏まえて、次の点を伺います。

- (1) 教育環境の整備 人の心と亘理の未来を育てます。（選挙時の政策）
  - ① 10月1日から10月20日迄計4会場で「教育環境の整備に関するアンケート調査結果報告会」が開催された。  
そこでの意見の内容と、意見等に対しての対応を伺う。
  - ② 学校給食センターと亘理小学校北校舎の建替え計画はどうなっているのか。（亘理町学校施設長寿命化計画に基づく）  
建替えに備えて、亘理地区工業団地の売却金額（約12億円）から必要経費を差し引いた金額を、亘理町公共施設整備基金に積み立ててはどうか。

③ 全国学力調査で、町内学校の正答率と県平均との比較はどうなっているか。又、劣っている教科は何か。要因と改善策を伺う。

(2) 町のあるべき将来像を、町民の皆様に描いていただき、協働で亘理の未来を創っていきます。(選挙時の政策)

「町の将来像をどのように描いているのか」を伺う。

## 2 今後の財政運営について

町政運営においては、財政問題が最重要課題と考える。

2019(令和元)年6月定例会での一般質問への答弁は、「財政確保策として、事務事業の見直し、町税や公共料金等の滞納整理に注力」とある。

以下、について伺う。

(1) 2018年度、2019年度において、どの事務事業を見直したのか。金額はいくらか。(主に3~5事業)

(2) 2019年度、2020年度の町税(固定資産・都市計画税)や学校給食費、住宅使用料の滞納整理の金額を伺う。

通告順	議席番号	通告者
8	8	小野明子

### 1 網膜色素変性症を患う町民への支援について

(1) 網膜色素変性症は、網膜にある細胞の機能が失われることで、視野が狭くなる症状や暗所で物が見えづらくなる症状を引き起こし、失明するケースもある進行性の病である。未だに根本的な治療法が確立されていない難病で、4000人から8000人に一人の割合で発症する。現在、町ではこの病を患う町民の人数について、どの程度把握しているのか。

(2) 網膜色素変性症患者の生活を支援する道具として、暗所での視力を補う「暗所視支援眼鏡」が注目されている。しかし、購入費用は一つ約40万円と高価であり、熊本県八代市や埼玉県深谷市等の複数の市町村では「暗所支援眼鏡」が「日常生活用具給付事業」の対象種目に追加され、購入費の補助が始まっている。亘理町においても、「暗所視支援眼鏡」の

購入費補助を検討してはどうか。

## 2 高齢者の「フレイル」予防について

- (1) 令和3年3月に策定された「第8期亘理町高齢者介護保険福祉計画・介護保険事業計画」では、基本目標1「高齢期をいきいきと過ごすための健康づくり・介護予防」の達成に向け、加齢と共に心身の活力が低下する「フレイル」を予防し、健康寿命を延伸する取り組みを実施すると明記されている。運動支援地域サポーターが主導する運動自主グループや「健康づくり茶話会」、脳活性化教室「ボケてらんねっちゃ」等は目標達成のために必要不可欠な取り組みであるが、今年度の開催状況、参加人数は。
- (2) 「フレイル」予防のためには、継続的な運動や食生活の改善に加え、「フレイル」の兆候を早期に発見し、意識することが重要だとされる。近年では、仙台市を含む複数の自治体が筋肉量を図る簡単な自己テストや「フレイル」のチェックリストを広報等で紹介している。また、神奈川県平塚市や静岡県静岡市のように、「フレイル」度合いを測定する催しを定期的に実施する自治体もある。本町でも通常健康診査に加え、広報等での「フレイル」に特化した簡易テストの紹介や測定会を実施してはどうか。